

アナログ愛好家が手掛ける
第4作目の中核モデル登場

EAT (EURO AUDIO TEAM) はチェコ共和国、オーストリア、ドイツ、スイス、イギリスといったヨーロッパ各国に拠点を置くオーディオメーカーである。創業は1993年。当初は専ら真空管の製造を行っていたが、2009年にForteという重量級のターンテーブルを発表し、アナログの世界にデビューした。翌年にはそれを小型化したForte Sを、2012年にはエントリークラスのE-Flatをリリース。その他、トーンアーム、カートリ



開発者から

EAT
CEO
Jozefina
Lichtenegger氏

EAT (Euro Audio Team) では、常に最新の技術を採用し、新たなアプローチによりターンテーブルを誕生させてきました。

EATのアナログプレーヤーは、ハイエンドオーディオ市場において“革命”と言われた「Forte」「Forte S」を皮切りに、究極のエントリーモデルとして登場させた「E-Flat」に至るまでに、その優れた技術と性能で世界中のオーディオファンから高い支持をいただきました。

今回登場した「C-Sharp」は、優美さを兼ね備えた「E-Flat」の成功がきっかけとなり誕生したもので、さらにエレガントでスリムなターンテーブルを追求しています。

ッジ、フォノイコライザー等をライアーアップしている。主宰者のジョゼフィーヌ氏は膨大なレコードコレクションを所有するアナログ愛好家で、ファビオ・ルイージ指揮/ウィーン響によるマーラーの交響曲第一番のLPを制作するほどの人物だと漏れ聞く。

カーボン繊維を駆使した重心の低いフォルムが魅力

本機はEATのレコードプレーヤーの第4作だ。写真でもお分かりのように、非常に重心の低いフォルムが与えられている。このような低重心タイプは昨今流行のようで、エントリークラスのモデル

ではよく見かけるが、このような大型機では比較的珍しいのではないだろうか。メインシャーシは MDFのフレームに取りつけられたカーボン繊維製のプラッターは二重構造で、ベルト駆動されるサブプラッターの上にメインプラッターが載っている。プラッターの重心も低く、かつの背の高いプラッターとはセタンとスーパースポーツカーほどの違いがある。レコードをかける際はスタビライザーでプラッターに圧着するのが基本だ。電源部は別筐体で、33回転用と45回転用のスタートボタンと、共通のストップボタンがある。スタティックバランス方式のトーンアームのパイプはメインシャーシと同様、カーボン繊維が用いられている。アームのサイズは10インチ。ボディが大きいのでフォルムのバランスはとれているが、至近距離からの眺めはなかなか壮観だ。

常に安定して静寂感があり
空気感をストレートに出す

スタートボタンを押すとボタンに内蔵されたLEDが点滅する。点滅から点灯への変化が所期の回転数に達した合図だ。立ち上がりは早くもなければ遅くもなくてちょうどいい。そのサウンドは、ず

ばりカーボン効果そのものである。すなわち、固有の共振モードがほとんどなく、音の背景に森閑とした静寂感があるのだ。その表現にはアナログらしいアウトフォーカス感はなく、全ての音に焦点が合っている。音像にアナログ的なアバレ感はずっとなく、常にスタビライズされていて安定度が非常に高い。

音楽的にはクールなイメージだが、ここでは思いのほか熱いジャズを聴くことができた。きつと収録現場には熱い雰囲気漂っていたのだろう。その空気感をストレートに出すあたりにこのプレーヤーの価値がありそうだ。ヴォーカルの輪郭線がない。まるでスーパーハイレゾのような、と書きたいところだが、音の質感はアナログそのものである。これは現代的なアナログサウンドの最たるものひとつだ。クラシックは極めて明晰である。アナログにありがちな音像定位の曖昧さがなく、どのパートがどこにいたのかを指すように分かる。それでいて豪快さはいささかも削がれていない。

このサウンドがこの価格で手に入るのだから、いい時代になったものだ。



独立構成のコントロール部。33と45回転の切り換えが可能



ターンテーブルはベルトドライブ駆動。インナーとアウトターの2重構造で、共振を打ち消す方式を採用

Specifications

- 回転数: 33.3 / 45rpm ● SN比: -70dB
- トーンアーム: 254mm、16.5g ● オーバーハング: 16mm ● 適合カートリッジ: 5.9g (125g)、8.5-13g (142g) ※カウンターウエイトの抜き挿しで調整 ● 消費電力: 8.5W ● 電源: 15VDC / 1.6A、90~264V AC、47~63Hz ● サイズ: 500W×115H×400Dmm (コネクター含む) ● 質量: 13.5kg (本体)、0.5kg (コントロール部) ● 取り扱い: カインラボラトリー・ジャパン

スーパーフラットターンテーブル誕生 精密さとアナログ的な質感が両立

Text by
石原 俊
Shun Ishihara

Photo by 田代法生

第4作目の中核プレーヤー

EAT

C-Sharp

アナログプレーヤー ¥555,000(税別)

※オリジナルトーンアーム標準装備 ※MCカートリッジ(ORTOFON/MC Quintet Black)付属



Profile

EATブランドが手掛ける第4作目のアナログプレーヤーが登場した。この最新モデル「C-Sharp」は、エントリーモデル「E-Flat」の世界的な成功を受けて登場させたもの。ボディにはカーボンファイバーとサーモプラスチックエラストマー素材を組み合わせることで、薄くても高い剛性を獲得。音質と美しさを極限まで追求したスーパーフラットターンテーブルに仕上がっている。また、オリジナルトーンアームやMCカートリッジも搭載しながら、破格のコストパフォーマンスを実現しているモデルとしても注目したい。